

研究に関する情報公開について（オプトアウト）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた診療情報を用いる後方視的観察研究であり、患者さんに新たにご負担をお願いすることはありません。研究にご自身の情報を利用してほしくない場合は、下記のお問い合わせ先までお申し出ください。お申し出により不利益が生じることは一切ありません。

1. 研究課題名

転移性・進行尿路上皮癌に対する白金製剤（プラチナ製剤）を用いた化学療法の治療成績と安全性に関する後方視的研究

2. 研究責任者

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 泌尿器科 医長 臼井 公紹
（統括責任者：泌尿器科 部長代行 大竹慎二）

3. 研究の意義・目的

尿路上皮癌に対しては、白金製剤（プラチナ製剤）を用いた化学療法が長く治療の中心であり、近年は免疫チェックポイント阻害薬（ICI）やエンホルツマブ ベドチン（EV）を含む新たな治療も加わりました。本研究は、当院で白金製剤による化学療法を受けられた患者さんの治療成績と安全性を、治療体系が変化する前後の時期を含めて明らかにし、白金製剤を再度投与する治療（プラチナリチャレンジ）を含めた今後の治療選択に役立てることを目的としています。

4. 研究の方法

対象となる方：2005 年 1 月～2029 年 3 月に当院で、白金製剤（プラチナ製剤）を用いた化学療法を受けられた進行・転移性尿路上皮癌の患者さん（約 300 例）

利用する情報：年齢、性別、全身状態、原発部位、病期、これまでの治療歴、白金製剤の種類・投与間隔、投与レジメン・回数、治療効果、生存期間、有害事象などの診療情報

研究方法：診療録から上記の情報を収集し、匿名化した上で治療成績・安全性・効果予測因子を統計学的に解析します。追加の検査や費用の負担、身体的な侵襲は一切ありません。

5. 研究期間

倫理審査委員会の承認後 ～ 2029 年 3 月 31 日

6. 個人情報の保護

収集した情報は、氏名・生年月日・ID 等の個人を特定できる情報を削除し、匿名化して取り扱います。データはパスワード管理された院内の端末・サーバで厳重に保管し、研究終了後 5 年間保管した後に完全に消去します。研究成果は学会や論文で公表することがありますが、個人が特定される情報が公表されることはありません。

7. お問い合わせ・研究への利用を希望されない場合の連絡先

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 泌尿器科

研究責任者 臼井 公紹

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16 電話：046-822-2710（代表）

（平日 午前 8 時 30 分から午後 17 時 15 分まで）